

みんなで水辺環境づくりワークショップ 活動だより

4

第4回ワークショップを開催しました

三次市の三川合流部(さんせんごうりゅうぶ)の水辺環境を考える、第3回「みんなで水辺環境づくりワークショップ」を9月26日(土)9:30からまちづくりセンターペペラホールで開催しました。

第4回ワークショップでは、技術的検討を行った整備メニューの確認と整備後の状況や利用イメージなどを絵に描き、みなさんの想う三川合流部周辺の将来像を描きました。

「技術的検討結果の報告」では整備メニューに対して治水(安全)上の制約を考慮しなければならないことを把握していただきました。また、「将来像の描画」では、整備メニューや利用イメージが描かれ、みなさんの河川整備への想いが共有され、整備後も愛着を持って利用し、積極的に維持管理に取り組んでいくという皆さんの意見が聞かれました。



ワークショップの流れ
ワークショップの趣旨や主催者の挨拶の後、事務局が「第3回の振り返り」や、これまでに検討提案された整備メニューを技術的に検討した結果の報告を行いました。

その後、グループに分かれ整備メニューの確認と、さらに追加したいメニューの検討を行った後、利用イメージや維持管理など、みなさんが想う将来イメージを描き、その結果を発表し、共有しました。

STEP1 目的の確認と前回の振り返り

STEP2 技術的検討結果の報告

STEP3 整備メニューの検討

STEP4 将来像の描画

STEP5 グループ発表



整備メニューの検討

グループに分かれ整備メニューの確認



将来像の描画

切って貼って描く
将来の三川合流部
周辺

第5回ワークショップ

日時: 11月29日(日)9:30~11:00

場所: 三次市防災センター

第5回ワークショップは整備計画の説明や、これまでの検討結果の発表などを行う予定です。

***一般の方にも多くご参加いただきたいと思いますので、お声かけをお願いします。**

各班の将来像

第1回から第4回まで検討してきた結果のまとめとして、これまで検討された整備メニュー、利用イメージ、維持管理への取り組みを、みなさんの描く三川合流部周辺の「将来像」として絵にしました。たくさんの想いの詰まった将来像の一部を紹介します。

【尾関山のサクラ土堤】

将来イメージ

三次の風物詩となっている尾関山の桜並木が維持されています。

また、外灯、ベンチの設置、堤防天端の舗装が行われ人々が快適に利用できるようになりました。

さらに、水辺に降りられるようになり、子どもたちが川と触れ合っています。継続して草刈りなどの維持管理にも取り組まれています。



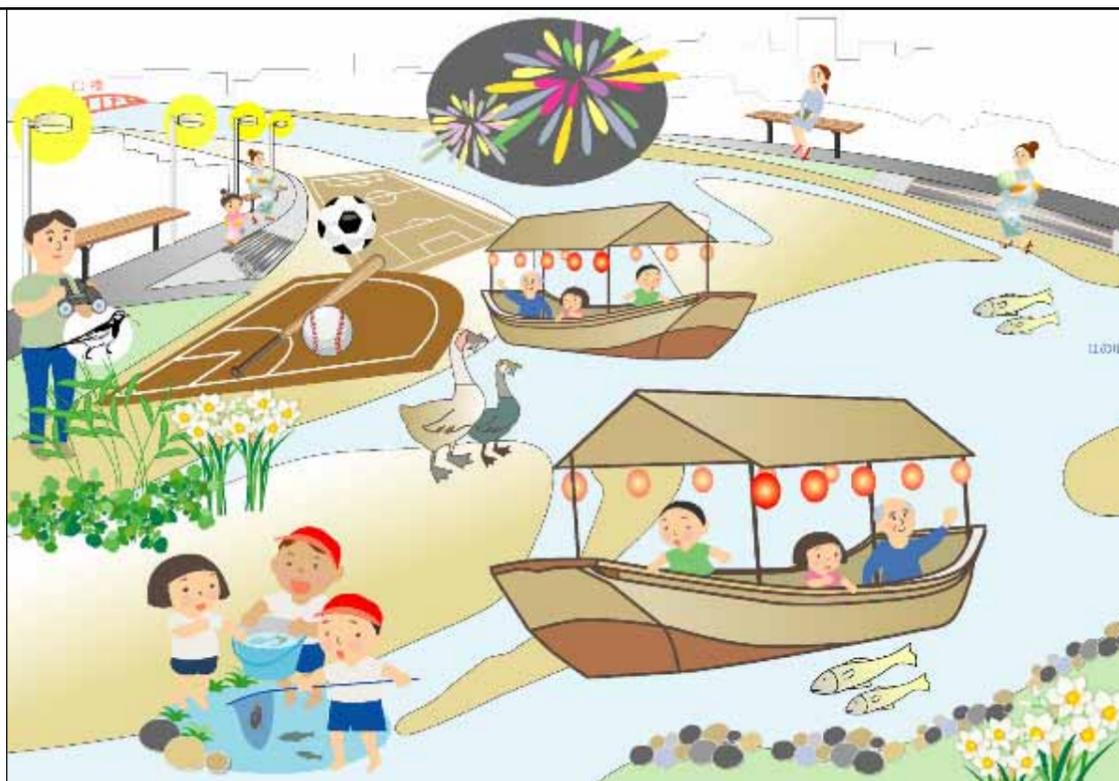
【稻荷町グラウンド周辺】

将来イメージ

花火大会が行われる稲荷町グラウンド周辺の護岸は階段上に整備され、観覧席として利用されています。

川では昼間の遊覧が新しい三次の顔となってきました。動植物も生き生きとしています。

堤防には外灯、ベンチが設置され利用しやすくなっています。子どもたちも川に近づけ楽しそうです。



【西城川周辺】

将来イメージ

西城川の両岸は桜並木が整備され、春には地域の方でにぎやかに利用されています。

その堤防には街灯も整備され、たくさんの方がウォーキングやランニングを楽しんでいます。

川は魚や水生植物も豊かとなり、地域住民も維持管理で美しい川の維持に一役を担っています。



【三次町から望む寺戸側】

将来イメージ

水際まで降りられるように整備され、子どもたちが魚釣りや水辺の観察を楽しんでいます。

水辺の動植物も戻ってきました。

護岸には桜、外灯、ベンチが整備され、花見やウォーキングなどに利用されています。

地域住民による草刈、清掃活動も継続して行われています。



【北溝川】

将来イメージ

階段護岸がところどころに整備され、水質もよくなったため川辺から子どもたちの声が聞こえるようになりました。

外灯も整備され、ウォーキングなど川沿いを利用するひと増えています。

また、イベント時にも明かりが灯り市民の憩いの場になっています。

維持管理も充実しています。



【八次グラウンド】

将来イメージ

八次グラウンドはかさ上げされ利用しやすくなりました。

水辺の環境学習ができる河原や護岸が整備され、子どもたちも興味津々です。

高水敷も歩きやすくなり、ウォーキングなどによく利用されています。

維持管理も地域が団結して取り組んでいます。

